

実家のいちご栽培をUターン承継し、独立3年目に法人化！

1 現在の農業経営の概要

経営地・氏名	滋賀県 株式会社 河西いちご園 代表取締役 夏吉 ゆり子 さん
経営開始年	平成28年（2016年）
営農類型	施設野菜（いちご）
経営規模	ハウス4,400㎡
公庫資金ご利用歴	<就農時> 土耕栽培システム導入のため青年等就農資金 <就農3年目> ハウス増棟のためスーパーL資金



2 就農までの経歴・就農のきっかけ

都内の住宅メーカーに勤務していましたが、出産・育児を機に、生活環境に恵まれた故郷の滋賀県に2007年にUターンし、私は実家が営むいちご園・梨園の手伝いを開始。農園従事を通じてお客様の笑顔に接し、もっと美味しい“いちご”を沢山お届けしたい、という夢がふくらんでいきました。

そんなとき、ハウスの借地の更新ができなくなるという事態が起きました。

お客様の励ましもあって、考えた末に独立就農を決意。2016年に認定新規就農者の認定を受けて、自分のいちごハウスを整備して経営を開始しました。

2017年には直売するいちごが不足することになったので、2018年に法人化に踏み切り、ハウスを増棟して頑張っているところです。

3 今後の抱負/後に続く新規就農者の方々に送るエール

◆こだわり◆

農産物と消費者が主役で、私はそれをつなぐ脇役です。農園の主役は「お日さまをたっぷり浴びた、甘く香る朝採れ完熟いちご！」。甘さ香る完熟いちごを消費者の皆さまにお届けするのが経営ビジョンです。

◆今後の抱負◆

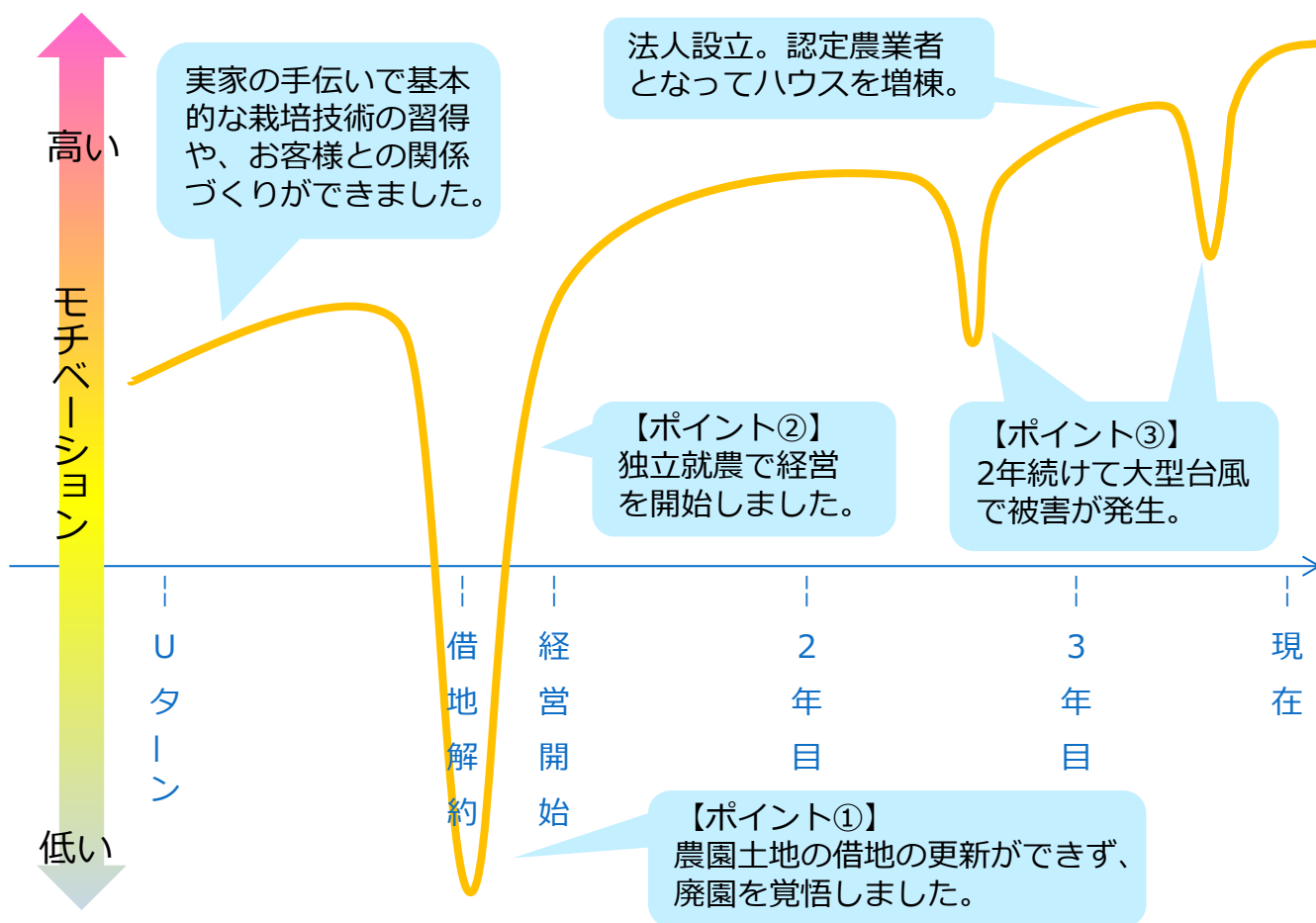
ハウスを増棟したので、自分で作成した経営計画どおりに運営できるよう、経営の月次管理にしっかり取り組むことです。また、いちごソフトクリームの販売も開始したので、農園の魅力の情報発信にも努めていきます。

<就農を目指す方へのエール>

周囲の助言をいただきながらも、最後は自分で判断することが大切だと思います。就農を目指す人があれば、ともに経験を重ねながら頑張っていきたいと思います。



4 夏吉さんのこれまでの経営とモチベーショングラフ



5 モチベーショングラフのポイント解説

主なできごと / 経営上の課題と解決策

- ① 実家のいちご園の借地の更新ができずに気持ちは大きく落ち込みました。でも馴染みのお客様の「別な場所で美味しいいちごを作り続けて！」という言葉に勇気をもらいました。そんなとき、資材メーカーの方が「認定新規就農者制度というのがあるよ！」と教えてくれたのです。
- ② 今の守山市で農地を借りられることになり、公庫の青年等就農資金と自己資金によって独立就農を果たしました。馴染みのお客様にも大変喜んでいただきました。
- ③ 2017年に台風災害でハウスといちご苗に甚大な被害を被りショックでした。台風直前の防災対策が不十分だった点を反省して施設復旧するとともに、増棟するハウスはパイプハウスより強靱な鉄骨ハウスにするなど工夫しました。しかし、2018年も再び大型台風に襲われビニールの破れなどの被害が発生。2年連続での被災経験に学んで、さらなる防災対策を練っていかねばならない、と考えています。